



株主通信

第 72 期

KUZE BUSINESS REPORT 2018年4月1日から2019年3月31日まで

TOP MESSAGE

企業体質を改善し、事業の安定性を高め
持続的成長の実現を目指します。

詳細な情報はホームページをご覧ください

 <https://www.kuze.co.jp>

頼れる食のパートナー

 株式会社 久世

証券コード：2708

株主の皆様へのメッセージ

TOP MESSAGE

企業体質を改善し、事業の安定性を高め
持続的成長の実現を目指します。

代表取締役社長
久世 真也

profile

1972年9月27日生。
2002年10月当社入社。
営業本部東京支店副支店長、キスコ
フーズ代表取締役社長を歴任し、常
務取締役、取締役副社長を経て現職。



「収益構造の再編」と「提案営業の強化」に注力

当社グループは現在、安定的な収益基盤の構築を目指す3ヶ年中期経営計画「Challenge NEXT ONE」を推進中です。計画初年度の当期(2019年3月期)は、新たに連結対象となった中国の上海日生食品物流有限公司の寄与もあり、増収を果たしました。しかし、食材卸売事業は市場の伸びと同等程度に止まり、売上計画に対しては未達となりました。

利益面では、食品の仕入価格や物流費の上昇に加え、重点課題である収益構造の再編の一環として、物流面において大手チェーン向けの配送を自社物流センターから外部委託による物流センターにシフトし、変動費化を進める中で、一時的にコスト効率が悪化したことから、減益を余儀なくされました。

収益構造の再編にあたっては、中長期の視点で物流費の抑制を目指しており、上記の整備によって徐々に改善効果が表れてくる見込みです。もう一つの重点課題である提案営業の強化については、今年4月に商品本部内にマーケティング本部を統合しました。今後、商品政策とプロモーション政策を一致させた取り組みで売上を拡大していきます。

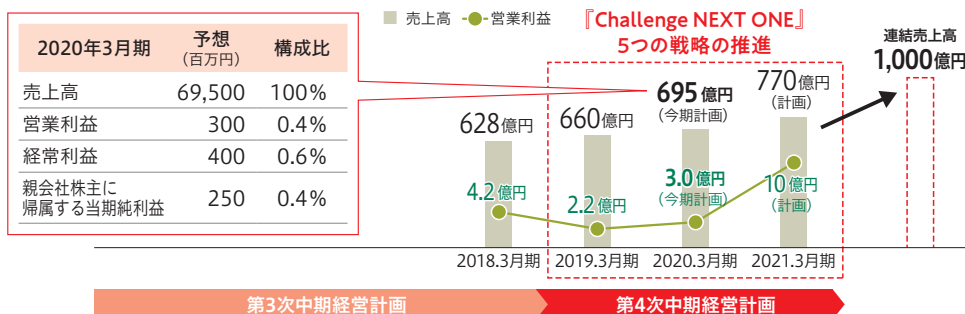
事業戦略を成果につなげ、最終年度目標の達成へ

中期経営計画「Challenge NEXT ONE」は、最終年度の2021年3月期連結業績における「売上高770億円」「営業利益10億円」の達成を目指し、「物流」「情報システム」「マーケティング」「海外」「グループシナジー」の5テーマから成る事業戦

新中期経営計画(第4次3ヶ年中期経営計画)

私達のあるべき姿 システムで運ぶ つくる 考える “頼れる食のパートナー”

“頼れる食のパートナー”として「連結売上高1,000億円」「三大都市圏No.1」「お客様満足度No.1」を目指す



事業戦略5つのテーマ

- 物流** 高効率でフレキシブルな物流網の構築
- 情報システム** 安定性と戦略性を備えた情報システムの構築
- マーケティング** 市場分析の推進
PB商品の開発とプロモーション
- 海外** 輸出入事業と中国・NZ現地事業の推進
- グループシナジー** 製造事業や生鮮事業
他社との連携

TOPICS

日本外食流通サービス協会(JFSA)に加盟

2019年4月1日より、久世は業務用食材卸売協業体に加盟いたします

日本外食流通サービス協会(JFSA)は、全国に加盟企業を有する業務用食材卸売協業体であり、賛助会員メーカーとの販促協力を活動の中心としつつ、その他国内外のメーカーからの一括共同購入やプライベートブランド商品の企画開発を行うとともに共同流通システムの運用、マーケティング情報の収集と営業支援情報の提供など強固な共同販売体制を構築しています。

当社は、今後加速が予想される外食市場の変化に迅速かつ的確な対応をしていくため、JFSAに加盟し、商品力や調達力を強化させ、より一層の顧客満足度の向上に努めてまいります。

略です。このうち特に重視しているのは、「物流」「情報システム」「マーケティング」の3つです。

物流戦略では、前述の配送シフトによる体制整備を進める一方、今年4月には名古屋の物流センターを移転するなど、各地で配送能力の拡大と効率化を図ります。

情報システム戦略では、安定性と戦略性の強化に向けて、基幹システムの入れ替えを実施し、また顧客向けにメニュー・レシピ情報を提供するスマートフォンアプリを開発していきます。これらのシステム投資については、中期経営計画の3年間で5億円を投じる予定です。

マーケティング戦略では、PB商品の開発およびプロモーションに注力しつつ、それをピンポイントで得意先に提案する仕組みを構築し、営業活動の生産性を改善していきます。

計画初年度において業績目標の進捗に遅れが生じたことから、最終年度目標の達成には、残る2年間で収益力を一段と向上させていく必要があります。各事業戦略を成果につなげるために、全社を挙げて邁進してまいります。

「ダントツ商品」に注力、認めていただける価値づくり

2020年3月期は、収益力を高めて経費の上昇をカバーすべく、商品政策の見直しを進めていきます。具体的には、各カテゴリーにおいて優位性を発揮する「ダントツ商品」の開発・投入に注力し、利益率の改善を図る考えです。

また「ファインダイニング」「カジュアルレストラン」「観光大

型施設」「中食・総菜」「老人保健施設・給食」の5つを主要得意先のターゲットに定め、これに「効率簡便」「高付加価値」「高齢化」「健康」「女性目線」の各テーマにもとづく提案を行うことで販路を拡げていきます。

なお当社は、このたび日本外食流通サービス協会(JFSA)に加盟しました。今後、JFSA加盟企業との連携を通じて、商品力や調達力の強みをいかした事業を展開していきます。

2019年10月には消費増税が実施され、顧客業界において強い向かい風になると予想していますが、その中で当社は、価値を認めていただける商品・サービスの提供に努め、環境の変化を乗り越えてまいります。

価値提供の可能性を拡げ、未来へ飛躍する企業へ

今回の期末配当は、成長投資に必要な内部留保とのバランスを勘案しつつ、安定配当の維持を基本とする利益還元方針にもとづき、予定通り1株当たり12円(前期同額)とさせていただきます。株主の皆様のご期待に応え、配当水準をより高めるべく、引き続き業績向上に努めてまいります。

当社は、企業体質のさらなる改善を図り、事業の安定性を高めながら、持続的成長の実現を目指します。そして寡占的なプレーヤーがまだ存在しない業務用食材卸業界で、価値提供の可能性を拡げていくことで、事業規模を拡大し、未来に向けて飛躍したいと考えています。

株主の皆様におかれましては、これからも当社グループへの長期的なご支援を賜りますようお願い申し上げます。

業務用食材卸の久世は 「頼れる食のパートナー」を目指しています。

「運ぶ」「つくる」「考える」という3つの観点から
「繁盛店づくり」のための様々なサポートを行い、課題を解決する
「フードサービス・ソリューション・カンパニー」です。



久世の役割

久世は消費者の皆様に
「多様で豊かな食」をお届けしています

あらゆる食材・資材をワンストップで提供できるフルラインサプライヤーとしてお客様のニーズにお応えし、いつでもどこへでも高品質をお届けしています。

価格と品質にこだわったオリジナル商品の開発を行っており、定番アイテムはもちろん、他店との差別化を図る独自性の高い商品も取り揃えています。

また、長年の経験をいかし、メニュー開発やオペレーションに至るまでのトータルサポートや最新トレンドなどの情報発信を行い、久世の持つノウハウを提供しています。

2013年にはISO22000を取得し、商品の品質だけでなくすべての工程の品質を向上させ、お客様にご満足いただけるようサポートしています。

久世は、グループの総合力でお客様の「繁盛店づくり」のお手伝いをしています。

CLOSE UP



「旭水産株式会社」 「株式会社久世フレッシュ・ワン」豊洲市場に移転

2018年10月に、豊洲市場がオープンし、当社グループ会社も築地から豊洲へ移転しました。

鮮魚を取り扱う「旭水産」と生鮮野菜を取り扱う「久世フレッシュ・ワン」。同市場内でのグループシナジーの強化を図ってまいります。



グループ 会社紹介

目利きのプロ集団

旭水産株式会社

旭水産は、伝統ある築地市場の中で高級鮮魚の取り扱いをはじめ、冷凍魚介類に至るまで幅広い品ぞろえで、あらゆるお客様の要望にお応えしてまいりました。そして、築地から豊洲へ移転してからも日本の魚食文化を支え続けています。

旭水産の強みは「目利き」です。魚に対するこだわりは世界一と自負しており、常に最高の商品をお客様にお届けしております。また、お客様の立場に立った提案にも自信があり、瞬時にお客様の好みに合った鮮魚を把握してご提供しています。

老舗有名寿司店やミシュラン星付きレストラン、ホテルなど高級店や専門店の職人たちを相手に、毎日プロ同士の真剣勝負が繰り広げられています。



会社概要

所在地 東京都江東区豊洲
代表者 代表取締役社長 村田達則
設立 1985年4月
資本金 5,000万円



豊洲市場で最大規模の加工室を保有

豊洲市場内の加工パッケージ棟に新設した加工室は、仕入れから出荷までが一元管理されております。スピーディーかつ効率的に品質を落とすことなく作業ができ、衛生面も整備されている施設です。

また、旭水産では「プロトン凍結機」を導入しており、年間を通して旬の魚を安定的にかつ品質を保持したままお客様へお届けできるのが特徴です。

素材本来の味わいを
キープする

プロトン凍結とは？

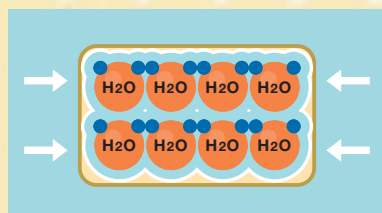
プロトン凍結とは、**急速冷凍環境下に均等磁束と電磁波を加えて凍結冷凍**することで、**食品・食材の鮮度や美味しさを維持する**新しい冷凍技術です。
通常の急速冷凍よりも氷の粒が細かいので、**食品の細胞を破壊しづらく、解凍時にもうまみや栄養が逃げません。**旬の魚を年間通して**安定的に供給**できることや、**フードロスの削減**につながることから近年注目を集めています。

ハイブリッド凍結で分子を整列



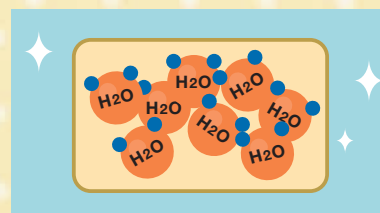
磁力と電磁波で水の分子を整え、細胞が壊れないように整列させる。

急速凍結で氷を小さく



氷の粒を大きくしないようにするには、多くの氷核を一度に作り、大きな氷結晶の成長を妨げる。

食品細胞を傷つけない

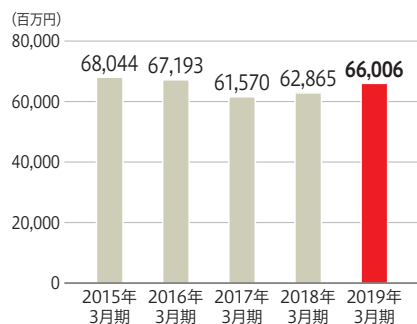


食品細胞の破壊を防ぐため、解凍時のドリップ量が少ない。

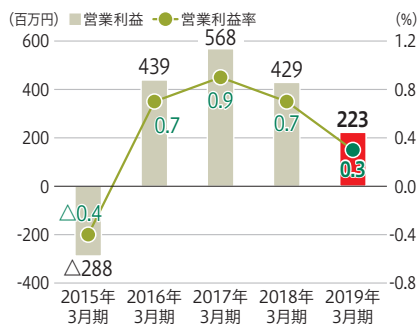
●● 連結財務ハイライト

Consolidated Financial Highlights

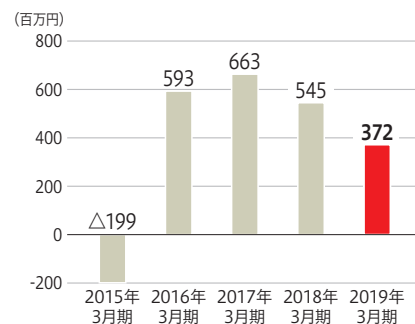
売上高



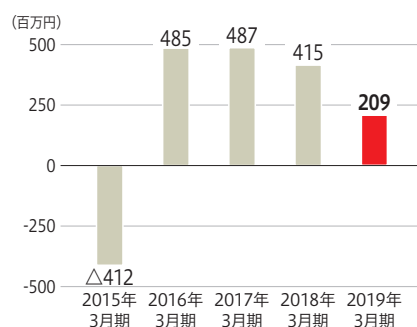
営業利益／営業利益率



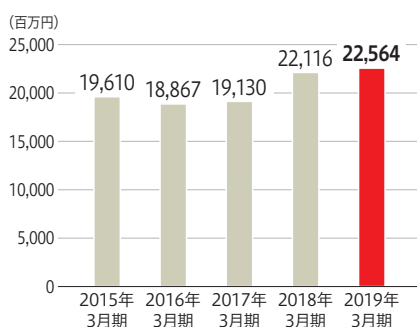
経常利益



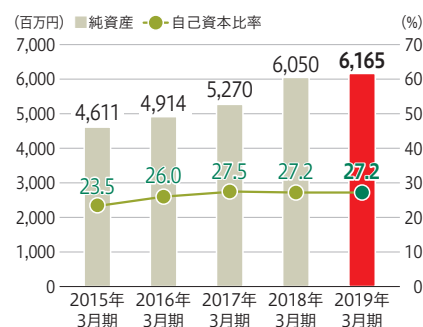
親会社株主に帰属する当期純利益



総資産

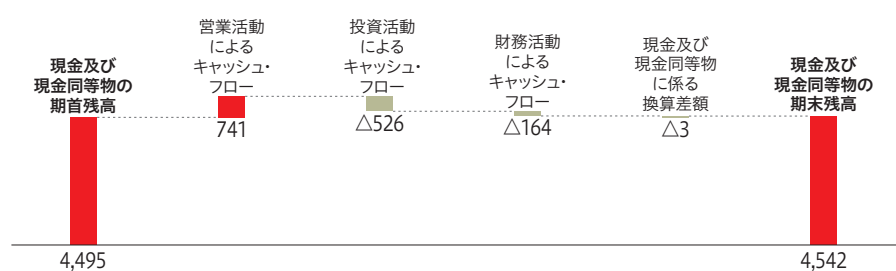


純資産／自己資本比率



連結キャッシュ・フローの概要 (百万円)

2018年4月1日～2019年3月31日



POINT

財政状態

- 総資産は現金及び預金、建物及び構築物、保険積立金が増加したことなどから4億48百万円増加しました。
- 支払手形及び買掛金、未払金の増加と、長期借入金の増減があったことなどから負債は3億33百万円増加しました。
- 利益剰余金の増加、有価証券評価差額金が減少したこと等により純資産は1億15百万円増加しました。

キャッシュ・フローの状況

- 営業活動によるキャッシュ・フローが7億41百万円となったことおよび投資活動によるキャッシュ・フローが△5億26百万円となったこと等により、現金及び現金同等物の期末残高は47百万円増加しております。

●● 会社概要／株式の状況

Corporate Data / Stock Information

会社概要

社名 株式会社 久世
所在地 東京都豊島区
東池袋二丁目29番7号
電話番号 03-3987-0018(代表)
代表者 代表取締役社長 久世真也
創業 1934年(昭和9年)4月
会社設立 1950年(昭和25年)1月
資本金 3億225万円
(2019年3月31日現在)

役員

(2019年6月25日現在)

代表取締役会長 久世 健吉
代表取締役社長 久世 真也
常務取締役 加藤 広忠
取締役 市川 明夫
社外取締役 平川 功
監査役 後藤 明彦
監査役 伊藤 英夫
社外監査役 大鹿 博文
社外監査役 和井田 堯彦

株式の状況

(2019年3月31日現在)

発行可能株式総数 12,000,000株
発行済株式総数 3,882,500株
株主数 3,386名

大株主の状況

(2019年3月31日現在)

(注) 持株比率は、自己株式
(181,118株)を控除
して計算しております。

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
久世健吉	661,625	17.87
久世真也	270,050	7.29
久世純子	214,100	5.78
久世社員持株会	163,725	4.42
日本生命保険相互会社	140,000	3.78
株式会社トーヨー	135,000	3.64
久世将寛	126,800	3.42
久世晃介	126,600	3.42
株式会社みずほ銀行	125,000	3.37
株式会社極楽湯ホールディングス	125,000	3.37

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 事業年度末日の翌日から3カ月以内に開催
期末配当金受領株主確定日 毎年3月31日
株主名簿管理人 みずほ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番地4号
(同連絡先) TEL 0120-288-324(通話料無料)
公告方法 電子公告により、当社WEBサイトに公告いたします。
但し、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は日本経済新聞に公告します。

- ご注意**
1. 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、みずほ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(みずほ信託銀行)にお問い合わせください。
 2. 未受領の配当金につきましては、みずほ信託銀行及びみずほ銀行の本店及び全国各支店でお支払いいたします。

ホームページのご案内

<https://www.kuze.co.jp>

久世

検索



当社ホームページでは、最新のおすすめ情報のほか、事業内容やIR情報を発信しております。是非ご覧ください。

IR情報



株主優待情報

株主様向け \ 耳より / インフォメーション

当社は、株主様の日頃のご支援に感謝するとともに当社事業へのご理解とご支援をいただき、
より多くの皆様に当社株式を長期に保有していただける
魅力あるものとするを目的として株主優待制度を設けております。

【対象となる株主様】

毎年3月31日現在の当社株主名簿に記載された
1単元(100株)以上を保有されている株主様を対象といたします。

【優待の内容】

株式保有数に応じて当社プライベート商品「特選無洗米」(山形県天童産)

進呈時期

毎年10月中

100株以上 1,000株未満

久世 特選無洗米 2.5Kg



1,000株以上 3,000株未満

久世 特選無洗米 5Kg
(2.5kg×2)

3,000株以上

久世 特選無洗米 10Kg
(2.5kg×4)

おいしい天童米をお届けします



天童市は、県のちょうど中ほどに位置し、周囲を山々に囲まれ、市の西部には最上川が流れる山形盆地にあります。土壌は肥沃で、気候は清涼。そんな自然風土の中、天童市では昔から農業が盛んに行われてきました。盆地型気候は特に稲作で最も大切な7月～9月に寒暖の差が大きくなり、それがお米に大いなるおいしさと栄養をもたらします。気象・地理条件を満たした最適地で、安全で安心なおいしいお米を届けたいという熱い情熱を持った天童の米農家の想いが、おいしいお米を生み出しています。

TOPICS



天童市の農協と契約栽培をしています。
久世社員も生産者と一緒に育てています。

天童市農業協同組合と契約栽培を開始し、久世の社員も研修として、生産農家の方々と一緒に田植えから稲刈りまでをお手伝いしています。美味しいお米をお届けできるようにと育てた山形県天童産の久世オリジナル米をどうぞお楽しみください。

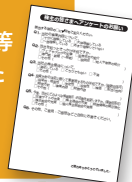
ご協力
ありがとうございました!

回答株主数 699名
回答率 18.7%

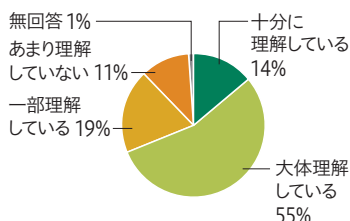
株主様アンケート結果のご報告

前回の株主通信に同封いたしました株主様アンケートの結果について、
いただいたご意見の一部をご報告いたします。皆様からいただきました
貴重なご意見等を、今後にかかしてまいります。

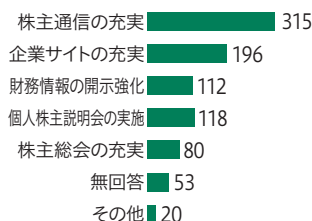
今回も株主様アンケートを実施いたします。
同封のハガキにご意見等
ご記入のうえご返送いただけますよう、よろしく
お願い申し上げます。



Q 当社の事業内容について



Q 当社にどのような情報提供・開示を希望するか(複数回答)



株主様からいただいたご意見を一部ご紹介します

Q. 株主還元方針について教えてください。

A. 現在は安定配当を志向しておりますが、今後は安定配当を基本に置きながら弾力的に株主還元を図っていくものとし、一定以上の利益水準を達成した場合には業績連動の考え方を取り入れることも視野に検討してまいります。